

2022年8月30日 岸本区長との懇談会

原田

133号線についてなかなかお会いできなかったのですが、当事者の声を聴いてもらいたいということできました。

森

岸本さんは発足集会のビデオを見て希望があると言ってくれた。区長になられて、私からはその言葉をそのままお返ししたいと思っています。希望が見えてきています。私は計画地の真ん中に住んでいます。昭和48年に杉並区の木として認定されたアケボノ杉の代理として参加しました。

加えて言いたいのは、基本的人権が守られるべきだと思っています。杉並では環七と環八が完成した後で杉並ぜんそくが発症し全国を騒がせました。

最後に3点強調したいと思います。1つはこの地域には小学校や中学校があり子供たちの通学路が分断されるということです。2つ目には地域の住民は完成した後16メートルの横断歩道を渡らなければ息ができなくなります。3つ目にはこの地域にはクリニックや小規模な医院がたくさんあるということとその多くが影響を受けます。

岡

人口も減って交通量も減っている中で、70年前の計画がなぜ今必要なのか疑問でならない不要不急の事業だと思っています。東京都は延焼防止と言っていますが16メートルでは飛び火などで延焼は防げません。この地域にはプラウドや杉並高校などの広場がありそこに避難すれば大丈夫です。防災の為と言うならば初期消火の推進で耐震や耐火支援を先にやるべきです。この計画は環境破壊だと思っています。この地域には広場と公園あります。今の環境を次世代に残してほしい。この地域には野鳥や小動物がたくさん来て安らぎを得ています。立ち退きについても補償概要を見ると、生活再建ができません。このように私たちは多くの不安を感じています。

岡

街として機能しているこの住宅街を壊してなぜ道路を作る必要があるのか。何のために作るのかが分かりません。800メートルでどれだけの人に影響が出るのか。またどれほどのお金がかかるのか。このようなお金は無駄であると思っています。かつて父も関わって行われましたが、「すぎバス」を作るときには地域をよく調べたりしてモニタリングを行って始めましたが、今回はそのような調査は一切行われていません。70年前と今は全く違っています東京と区はこの道路を選ぶ際に住民の意見を聞

いたことがあるのかまた現場を見たことがあるのか。

塚田

まっすぐではなく曲がっている計画でなぜあの場所に作るのか分かりません。本当に必要ならば今ある現道を活かすなどで整備したほうがいいと思います。自宅の3分の1がかかっています。2019年の説明会の時に東京都は防火の為といいました。そして交通事故が多いと説明していますが、その後で区の方が強く言っているので選んだと言っていました。道路が必要である理由が分かりません。

飯塚

道路にはかかっていますが完成すると道路は家の目の前になります。散歩しながらいろんな方と話しますが多くの方はいららないと言っています。ある方は便利になるなら良いのじゃないと言いましたが、誰にとって便利なのか不明です。また便利であると言う事と必要かどうかと言うのは違うと思っています。

當摩

父の弟より100年以上住んでいます。説明会では東京都が一方的に説明するだけでした。静かな街を壊さないでほしい。

市側の参加者

都市整備部長、井上

街づくり担当部長、野口

道路担当参事、友金

市街整備課長、土田

都市企画担当課長、野沢

岸本

今日はありがとうございました。要望書も頂きまして今日の懇談会ということになりました。みなさんと同じような共通の問題意識を持って選挙を闘ってきました。みなさんがそれぞれも想いを語ってくださったことで、このような形で現場で頑張ってきた職員とともに問題意識を共有できた事は大きなことだと思っています。このような機会を設けてくださったことに感謝しています。道路については私が何か云うというということではなく、これからどのように進んでいくのかに関して幅広く、地権者の方を始め街づくりの中で考えていきたいというのは、職員も住民の方も同じだと思います。

井上

反対の方がいるということ、また様々な意見がある事は充分承知しております。街づくりについては133号だけでなく、東京都と話し合いながら進めていきたいと考えています。今進めるのか見直すかということについて云える立場ではありませんが。

森

なぜ70年前の計画を今やるのか。前の田中区長が判断したということらしいがリーダーの役割が問われていると思います。

井上

この計画については第4次優先整備路線ということで東京都と区で検討して選んだ路線です。

岡

区が必要というので選らんだと都の方が言っていたのでと聞いていますが。

友金

区これが必要だと言うふうに判断しました、また区長が判断したので選ばれたと言うわけではありません。またこの計画はこのマスタープランに位置付けられている路線です。

飯塚

区として住民の意見を聞いているのか

野沢

区としても必要と判断して関係する部門が説明会にも参加して皆さんの意見を聞いています。街づくりについては、133号線だけでなく様々な人にも意見を聞いて行っています。

岸本

いろいろ意見を出していただいたので、今後、区主催ということではなくみなさんが主導で現地を見てもらう機会に私たちが参加するということが出来たらいいのではないかと感じました。議会が終わったら、道路の問題だけではなく沢山焦点になっている問題になっている事案もあり、都市整備局のみなさんもいろいろ考えて下さっているので、後半に何らの形で取り組んでいきたいと考えています。根源的なところが一致できなければ道路はできないのではないかと考えています。双方が同じ

ページに居なければいけないと思っています。みなさんに案内してもらいながら 133 号線のことを聞かせてもらうということはいかがでしょうか。

土田

133 号線について区として何ができるのか検討したいと思いますが皆さんの意見は聞けたので…。

・・・原田、酒井さんなど・・・

井上

先ほど区長から提案もありましたので、それに向けて事務局の野沢と原田さんとはすかね、調整していきたいと考えています。

岸本

住民のみなさんを応援する、住民のみなさんの命とくらしを守ることが区の仕事ですので。違う立場ですが良くしていこうということですので。